

特別の教科道徳学習指導案

日時 令和3年6月16日(水)5校時

令和3年6月19日(土)5校時

学校名 西東京市立田無第三中学校

対象 第2学年

授業者

1 教材名 「心に寄りそう」(「新訂 私たちの道徳」P.158～161)

2 内容項目 B(6)「思いやり、感謝」 (B主として人との関わりに関すること)

3 主題設定の理由

(1) 教材観

看護師になりたてのころ、なかなか自分の思いが患者さんに伝わらず悩んでいた山田さんは、ある女性の患者さんから「相手の心に寄り添うことの大切さ」を学び、視線を合わせて挨拶をするなど心配りをするようになる。「その時々的心里に寄り添っていくこと」が良い関係を築くことに気が付いていく。山田さんの姿を通して、具体的にどう接することが必要であるかを学び、実行に移していこうとする意欲を引き出せる教材である。

(2) 生徒観

活発で素直な生徒が多く、人間関係も比較的良好である。道徳の時間のみならず、各教科の学習の中で、自分の考えをもち、ペアや小集団での話し合い活動などを通して活発な意見交換が自然にできる集団である。ジグソー法を取り入れることで、多くの意見や考え方に触れ、より広く、深く考えようとする手立てになると考えられる。

(3) 指導観

エキスパート活動、ジグソー活動の取り組みを通して、「心に寄りそう」行動の事例を考えさせたい。また、その事例から行動や考え方の共通点を見つけることで今後のより良い人間関係づくりに前向きな気持ちをもたせたい。「相手の心に寄りそうとは」というキーワードに戻り自分の行動にとりいれようと考えられる事例を多く引き出したい。

4、授業のねらい

集団的思考の技法(ジグソー法)を用いて登場人物それぞれの立場からの行動やその思いを考えることを通して、多面的・多角的な視点から真の「思いやり」について、生徒個々の考えを深めさせる。

この集団的思考の活動は、友達の考えを自分の考えと比較しながら考えられる手立てである。互いに学び合うことから自らの学びを広げ、深めようとする意欲を育てる。

5 指導計画

	目標	学習活動
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトル「人に寄り添う」からどんな行動を想像するか考えさせる。 ・それぞれの登場人物の立場や思いを整理する。 	<p>個人の学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の課題「相手の心に寄りそうとはどのようなことだと思うか、あげる。 <p>例・相手のことを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場や状況を考える ・相手の今の気持ちを考える <p>エキスパート活動（3つの場面）</p> <p>A) 友人（例：友達が部活動の人間関係で悩んでいる）</p> <p>B) 家族（例：妹がピアノの発表会本番で失敗した。）</p> <p>C) 他人（例：遊園地で迷子になっている子供に出会った）</p> <p>各自A～Cの事例を考える</p> <p>↓</p> <p>エキスパートABCに分かれ移動</p> <p>その集団ごとに各自が考えた事例と、寄りそい方の答えを発表し合う。</p>
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の友人への接し方、家族他人の3つを想定し具体的な接し方について自分の考えをもつ。 ・いつも心がけることにつながり、標語的に書かせる。 「相手の心に寄り添いながら接していくのに、どのようなことを心がければよいか・なぜ必要なのか」 	<p>ジグソー活動</p> <p>エキスパート班での事例や寄りそい方を発表し合う。</p> <p>事例から「心に寄り添うとは～な行動」で意見を伝え合う。</p> <p>「相手に寄りそう」とは、事例の<u>共通点</u>を見つける。</p> <p>クロストーク活動</p> <p>課題について自分が「よさそうだ」と共感する事例を取り入れる。</p> <p>個人の振り返り</p> <p>「心に寄り添うとは～」「なぜ必要なのか」</p>

6、指導に当たって

〈ユニバーサルデザインの視点〉

「心に寄りそうとは」というキーワードをかかげ、的確な話し合い活動ができるようにする。

(焦点化)

小集団を設定することで、ひとりでは考えがまとまらない生徒も、より多くの意見交換ができることで次第に意欲的に課題に取り組める。(共有化)

〈集团的思考の視点〉

- ・集团的思考（ジグソー法）を取り入れることで生徒が主体的に話し合い活動に参加したか。
- ・集团的思考を経て、生徒の考えが深まる様子が見られたか。

7 本時

(1) 本時の目標（第1時）

- ・本文を読み、登場人物が「心に寄り添う」という思いに至った経緯を理解し、身近な事例を考えることができる。
- ・心に寄り添うとはどのようなことなのか、自分の考えをもつ。

(2) 本時の展開（第1時）

時間	●学習内容 ・学習活動 ○「発問」 ◎「中心発問」 ＊予想される生徒の反応	指導上の留意点・配慮事項 □つまづきへの手立て（UDの視点） ◇期待する効果
導入 (10分)	●タイトル「心に寄りそう」からどのような行動を想像するか考えさせる。 ○〈発問1〉 「心に寄り添う」とはどんな意味だと思いますか ＊相手のことを考える ＊相手の立場や状況を考える ＊相手の今の気持ちを考える ○〈発問2〉 「相手のためにと考えての行動や言葉が相手にうまく伝わったなと思えた経験、伝わらなかったなという経験はありますか」 ＊友達を励まそうとおもって言ったのに「僕の気持ちなんてわかるわけない。余計なことを言うな」と言われた。 ＊お年寄りに席を譲ろうとしたが「大丈夫です」と断られてしまった。 ＊部活の大会でペアを組んでいる友達と自分のアドバイスで気づけたから勝てたよと言われた。 →『違いは何か今日はみんなで考えてみたい』	◇ 様々な意見を出させる。自分の思いで行動したのになぜ相手に伝わらなかったのか、どんなことが必要だったのか。疑問をもって授業に臨ませる。
展開① 15分	●本文音読（教師が音読する）し、山田さんの経験を整理する ○〈発問3〉 山田さんが「視線を合わせて挨拶をする」ようになったのはなぜか ＊自分にはあいさつをしてくれなかったと思う患者さんがいた。	

20分	<p>*患者さんとの心の距離も近づきやすくなるから</p> <p>○＜発問4＞</p> <p>山田さんが「ちゃんとひとりひとりの患者さんに対してあいさつ」しているのはなぜか *近くで声をかけないと伝わらないことが多いから</p> <p>◎＜中心発問＞</p> <p>山田さんが大切なことだと学んだ「相手の心に寄りそう」とはどのようなことだろうか</p> <p>*ひとりひとりの患者さんの立場を尊重する気持ちをもつこと</p> <p>*看護師さんも患者さんもお互いが支え合っていること</p> <p>●ジグソー法の説明、エキスパートのグループ分けワークシート配布</p> <p>エキスパート活動 3つの場面</p> <p>相手の心に寄り添うとはどのようなことなのか、どのようなことをすればよいのか「寄り添うべき事例」を考えよう。</p> <p>課題A) 友人 (例: 友達が部活動の人間関係に悩んでいる)</p> <p>課題B) 家族 (例: 妹がピアノの発表会本番で失敗した。)</p> <p>課題C) 他人 (例: 遊園地で迷子になっている子供に出会った。)</p> <p>① 個人で考える (分担した課題に対して、事例をひとつ考える) 5分</p> <p>② エキスパートABC同じ立場の仲間が集まる。各自が考えた事例を発表し合う。 10分</p> <p>③ エキスパート全員で事例をひとつに絞る 5分</p>	<p>・</p> <p>エキスパート班を示した表を掲示、または呼名する。</p>
まとめ (5分)	<p>・本時の学習を振り返り、自分の担当事例の答えとして「自分ならどのように寄りそうのか」考え本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認ワークシートに記入する。</p>	

(3) 本時の目標 (第2時)

「心に寄り添う」という寄り添い方の共通点をクロストークで見出し、「心に寄り添うとは～である」

時間	●学習内容 ・学習活動 ○「発問」 ◎「中心発問」 *予想される生徒の反応	指導上の留意点・配慮事項 □つまづきへの手立て (UDの視点) ◇期待する効果
導入 5分	●前時の確認 「心に寄りそう」とはどのようなことだと話し合ったのかを思い出す	
展開② 35分	エキスパート活動 10分 エキスパート課題 ・自分の班の事例への寄り添い方を考える 課題A) 友人 (例: 友達が部活動の人間関係に悩んでいる) 課題B) 家族 (例: 妹がピアノの発表会本番で失敗した。) 課題C) 他人 (例: 遊園地で迷子になっている子供に出会った。)	
	ジグソー活動 15分 ・ジグソー班 (生活班) に戻りエキスパートごと (A1から順番に)、発表する。 ・それぞれの事例の寄り添い方の共通点を見つける	◇さまざまな事例を聞くことで、興味をもって聞くことができる。事例に共感する場面や新たな意見交換の場面が生まれ活発な話し合い活動に発展する。
	クロストーク活動 10分 ・ジグソー班 (生活班) で考えた「心に寄り添う」共通点を発表する。そのように考えた根拠を述べさせる。代表者が黒板に書く。(視覚化)	□発表の際、共通を「共通する場面」「共通する行動」「共通する心理」の3つに分けることで考えるよう促す。
まとめ (10分)	◎・改めて課題に対する答えを書く。 ・本時の学習を振り返る。(アンケート)	・余裕があれば発表させる。

という自分の考えをもつ

(4) 本時の展開 (第2時)

(5) 授業観察の視点

〈課題設定〉 ・「本時の目標」を達成するためにふさわしい活動であったか。

〈展開〉 ・「主体的・対話的で深い学び」は実現できていたか。

〈指導上の留意点〉 ・板書、掲示資料、ワークシートは適切であったか。

令和3年6月19日（土）

2学年道徳ワークシート 心に寄りそう

[エキスパート活動] 自分の班の事例への寄り添い方を考えてみよう 自分の班（ ）

--

[ジグソー活動] 各班の寄り添い方をまとめてみよう

班	事例	寄り添い方
A 1		
A 2		
B 1		
B 2		
C 1		
C 2		



生活班でそれぞれの事例への寄り添い方の共通点を見つけてみよう

--

[クロストーク活動] 班の考えを発表し合おう 他の班の発表をメモしよう

2年（ ）組 （ ）番 氏名（ ）

[個人活動]

◎心に寄り添うとはどういうことか。自分の考えをまとめてみよう

心に寄り添うとは

ということだ

◎今回の授業を通して考えたことを書きましょう。

◎振り返り

- (1) 話し合い活動では、自分の意見や考えを他の人にたくさん伝えることができた。(A B C D)
- (2) 友達の意見を聞いて自分の考えを深めることができた。(A B C D)
- (3) 学んだことをこれからの生活で大切にしたいと思った。(A B C D)

2年（ ）組 （ ）番 氏名（ ）